

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業点検・評価調書

5-I-2

5-I
-2

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	ネガティブイメージの払拭
	節	I. 佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	2 正確な史実の普及		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
			関連団体	県文化行政課、佐渡市総合政策課、佐渡市地域振興課、佐渡市観光振興課、佐渡を世界遺産にする会
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	【事業目的】 ○ 無宿人と罪人が混同されるなど、誤認されている史実や鉱山独特のネガティブイメージの払拭に向けて、正確な史実の普及を図る。			
	【事業内容】 ○ 各種情報媒体による積極的な情報発信の他、旅行・交通事業者、観光・世界遺産ガイド等の講習会等において正確な史実の普及を図る。			
事業実績	【事業成果】 ● 出前授業、出張説明、現地視察において史実に忠実な説明を実施している。また、佐渡市が主催するガイド研修においても同様に正確な史実の説明を実施している。			
今後の取組・課題	【課題】 ■ 出前授業・出張説明・ガイド研修受講者以外への普及が必要である。			
	【今後の取組】 ■ 各出版物及び講演会において、正しい史実について言及する。			
事業評価	【事業の達成度】 [a ● b · c]			
	【事業実施の効果】 [a ● b · c]			
	【総合評価】 [A ● B · C]			
		◇ 受講者からは、史実について認識を新たにした様子が窺えた。		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。